

郷土おおしま発表大会

12月14日(火)、「郷土おおしま発表大会」を開催しました。

「郷土おおしま発表大会」は、周防大島中学校、大島中学校、周防大島高校の連携3校の代表生徒たちが、「総合的な学習（探究）」の時間「等で、本年度取り組んだ学習・研究の成果を発表するものです。今年は、初めての試みとして、オンラインで各校をつないでの開催となりました。

【発表タイトル】

- ・周防大島中学校
- 「私たちの郷土、周防大島」
- ・大島中学校
- 「周防大島町が元気になる10億円の使い方」
- ・周防大島高校
- 「環境コースの取り組み」
- 「地域創生科での学び」

中高生の視点から、周防大島の自然や文化、産業、暮らしなどさまざまな分野に目を向けて、周防大島の伝統行事の紹介や町の課題解決に向けた提言、周防大島が誇る「ニホンアワサング」の飼育研究、介護実習の報告など、各校ともに特色ある発表内容となりました。

生徒たちは、発表大会が終わった後の感想に「大島を良くしたい、魅力

を伝えたい！」という共通した気持ちからの発表からも伝わった」などのコメントを書いていました。



▲郷土おおしま発表大会の様子

学びの定着診断

1月7日(金)、連携2中学校の三年生を対象に「学びの定着診断」を周防大島高校にて行いました。学びの定着診断は、中学生の継続的な学習努力を促し学習意欲を高めることや、中高一貫教育の学習成果を確認することを目的として行われています。

普段とは異なる校舎で、国語、数学、英語、社会、理科5教科のテストを実施しました。基礎的な部分から応用力が求められるものまでさまざまな問題を解くことになるため、高校入試を目前に控えた中学生にとっては良い予行練習でもあります。

年末年始を挟んだこの時期は、どうしても気が緩みがちになってしまいます。本番さながらのテストを受けることで、再び気を引き締めて、勉強に励む、良い機会にもなったことでしょうか。

ふるさと納税を通じて周防大島の魅力を発信



ふるさと納税制度とは、ふるさとに貢献したい、応援したいという思いをかたちにするため、地方公共団体に寄附した場合、2,000円を超える金額について、お住まいになっている自治体の個人住民税や所得税を一定限度まで控除するものです。

周防大島町では、誇れる、また住みたくなる「ふるさとづくり」を実現するため、ふるさと納税制度の寄附金を、産業振興、教育・文化、保健・福祉や医療、防災対策などの取組に活用しています。

ふるさと納税は、インターネットからの申し込みが一般的ですが、「ふるさとチョイス」「ふるなび」「楽天ふるさと納税」のwebサイトからご寄附いただいた皆さまに、地域の特産品を返礼品としてお届けするため、周防大島観光協会では商品の提案や発注作業などの事業に携わっています。

周防大島が誇るブランドみかん「島そだち」や名

物料理「みかん鍋」などの柑橘類の商品をはじめ、瀬戸貝やサザエにナマコなどの海産物も人気を博しています。

また、6次産業の先進地としてジャムやハチミツ、イワシのオイルサーディンやひじき、海水から丁寧に手作りした塩など、周防大島が育んだ自然素材を活かした加工品もご用命いただけます。

その他、精肉店のこだわりチャーシューやお餅に洋菓子などの地場産品に、煤竹箸や文房具などの日用品、リゾートホテルや地魚料理をご堪能いただく旅館・民宿の宿泊チケットや温泉チケットなども好評いただいています。

来年度はモノだけでなくコトも楽しんでいただけるよう、返礼品として体験メニューをご提供できればと検討中ですので、ふるさと納税を通じて周防大島の魅力を発信できるよう努めていきます。

問い合わせ 周防大島観光協会 ☎ 0820 (72) 2134